

# 松田山南斜面の 散策路整備を提案する



質問者  
小澤 啓司 議員

近年、桜まつり等で富士山や足柄平野・相模湾など、雄大な景観が観光客を魅了し、リピーターが増えています。

健康志向と相まって、散策路や頂上までの登山道整備の要望があり、滞留時間の延長や回遊性の観点から、関連農道や旧道の整備と案内板設置を提案しますが、お考えをお伺いします。



松田城址から山頂へ向う

A

**松田山保全・整備  
計画策定の中で  
検討する**

回答（町長）

新たなハイキングコースとしては、桜まつり会場―谷戸農道―山頂へ続く旧道―町道25号線―最明寺史跡公園―西平畑公園のルートが考えられる。県の未病対策の一環として位置付け、整備を進めたい。

本町には、松田山全体について、具体的な方針がない。今後、農業・林業・その他関係者の意見

集約を図り、松田山の保全・整備計画を策定する中で、農道やハイキングコースの整備を検討する。なお、松田城址へのルートを含め、協働社会の

## 交流人口増加への 取り組みについて



質問者  
石内 浩 議員

昨年は、「オール松田」「おもてなし宣言」、今年も新しい取り組みが多く提案されています。町民が最も望んでいることは、「地域資源や人材が交流し、人情味あふれるふれあいが活発な町づくり」と思われますが、次の点についてお伺いします。

- (1) 町の交流人口の実態と、これからのあるべき姿とは。
- (2) 「おもてなし」の上での「緑と清流の町」の

実現に向けて、町民と共に行えることから進めたい。案内看板や道標は、隣接する山北町と協議の上、共通の形での整備を検討したい。

A

**おもてなしの  
まちを目指して**

回答（町長）

具体化策とは。

- (1) 町への観光客数は、年間約60万人ですが、更に新しい取り組みを目指し、町の地域資源を県や国、メディアなどに取り



自然豊かな奇の中津川周辺

上げられるように、町の情報や特徴を売り込む取り組みを進めている。

私の描くイメージは、若者が住みたくなるオシヤシで、外国の方も住みたくなる街、観光事業を中心に様々な産業で雇用を生み、若い事業者が活躍する街である。

(2) 「緑と清流の町」の具体策は、自然と町が融合した「おもてなしのまち」を目指している。更におもてなしの精神に「心」「魂」を取り込み「郷土愛」を生むことで、町づくりにつなげたい。

また、「緑と清流」は、自然任せでは守れない。地球温暖化防止、CO<sub>2</sub>削減への取り組みには、皆様方へ一層のご協力をお願いする。